

筑波研究学園都市地震工学ツアー（日本地震工学会 10 周年記念事業）報告

つくば市は、各種の研究機関が集結した学術・研究都市で、今回、第 13 回日本地震工学シンポジウムがつくば市で開催されることから、地震工学に関連する施設を対象としたバスツアーを企画しました。今回見学させていただきましたのは、以下の 3 つの機関です。

日 時：2010 年 11 月 17 日（水） 13:00 ～18:00

参加者：33 名

見学地：■国土地理院

- ・展示館
- ・情報サービス館

■土木研究所

- ・振動実験施設
- ・構造力学実験施設
- ・橋梁撤去部材展示場

■防災科学技術研究所

- ・K-NET の地震データ棟
- ・大型耐震実験施設
- ・大型降雨実験施設

はじめに、国土地理院では、床に描かれた 3D の日本地図を立体視めがねを使用して見学しました。また、展示コーナーでは地図を描くための測量機器や現存する貴重な古地図などを見学しました（写真 1, 2）。

次に、土木研究所では、大型 3 次元振動台とそこで行われた過去の実験風景ビデオ、輪荷重の繰り返し疲労実験、全国から集められた火事や塩害などで劣化して撤去された橋梁部材の展示コーナーを見学しました（写真 3, 4）。

最後に、防災科学技術研究所にて、全国に約 1000 ヶ所（約 25km 間隔）に設置された K-NET 地震観測施設をはじめとし、大型 1 次元振動台、大型降雨実験施設を見学しました。K-NET 地震観測施設は普段は見ることのできない施設内をオープンにいただきました。また、大型降雨実験施設では、1 時間に 200mm という猛烈な降雨を再現していただきました（写真 5, 6）。

当日は小雨交じりの大変寒い日でしたが、各研究施設のスタッフの方々のご尽力により、大変有意義な見学をすることができました。この場をお借りし関係各位に感謝申し上げます。

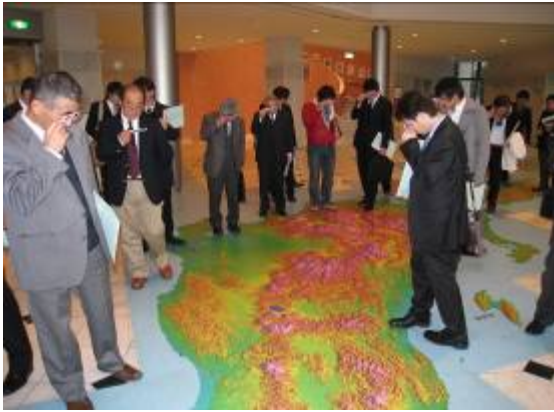


写真1 3D日本地図（国土地理院）



写真2 空中写真測量用図化機（国土地理院）



写真3 3次元大型振動台（土木研究所）



写真4 橋梁撤去部材展示場（土木研究所）



写真5 K-NET観測点（防災科研）



写真6 大型降雨実験施設（防災科研）

（文責：事業企画委員会 福喜多 輝 清水建設／射場大輔 京都工芸繊維大学）